

地域密着型サービス事業者 自己評価表

(認知症対応型共同生活介護事業所 ・ 小規模多機能型居宅介護事業所)



事業者名	グループホーム自由の丘 さくら	評価実施年月日	H21.11.30
評価実施構成員氏名			
記録者氏名		記録年月日	H21.12.10

北海道


は外部評価項目


項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念の共有			
1 ○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らしていくことを支えていくサービスとして、事業所独自の理念を作り上げている。	職員で話し合い理念の見直しをし地域の方達と関わりを持ち安心した生活を送ることに重点をおいております	<input type="radio"/>	町内会の廃品回収の手伝いをしたりして交流を深めてはいるがもっと気軽に来て頂く様にしたい
2 ○理念の共有と日々の取組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる。	ネーム裏に理念を貼り理念の意図する所を全職員が理解し毎日のケアに反映している	<input type="radio"/>	
3 ○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる。	理念は家族が見えるように目立つところに飾っている 毎月ご家族に送っている広報に理念を掲載している	<input type="radio"/>	運営推進会議の際には理念の説明をしているが年間行事を回覧板に載せ参加して頂ける様伝えるようにする
2. 地域との支えあい			
4 ○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている。	出勤時や散歩時にご近所の方にあいさつをしたり、お話をしている	<input type="radio"/>	畑の作物が収穫出来たら近所の人達におすそ分けできる様に関係を築きたい
5 ○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。	盆踊りや廃品回収のお手伝いは毎回参加している ホームのお祭りの時は地域の方にも案内状を配り一緒に楽しませている	<input type="radio"/>	
6 ○事業者の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。	同じ町内の事業所の研修会に参加して勉強し、ホームの行事に参加する様に声を掛けたりしています。また、実習生の受け入れも積極的にしています	<input type="radio"/>	地域の方々にまだ認知症の理解の実現ができていないので実現できる様にしたい

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7	<p>○評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。</p> <p>管理者・職員が各自自己評価を行い、外部評価の結果を会議にて話し合っている</p>		
8	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。</p> <p>運営推進会議を2ヶ月に1回開催しており、話し合ったことについて職員に報告し、今後のサービスに活かしている</p>		
9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる。</p> <p>何か分からない事があった場合等は電話または市の担当者さんの所へ直接行き相談したりして関わりを持つようになっています</p>		
10	<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している。</p> <p>地域権利擁護事業や成年後見制度の研修には参加し職員全員に伝達している</p>	○	2Fにはまだ活用する入居者様はいないが必要とあれば活用していく
11	<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p> <p>研修には参加し、勉強会を開き虐待について防止マニュアルのもと職員同士で勉強している</p>		
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p> <p>契約時にはご家族に分かりやすく説明し、不安・疑問点があれば理解出来るまで十分に説明を行っている</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
13 ○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	入居者様が不満や困っている事などを訴えた時は安心・納得するまでじっくりお話を聞きカンファレンスでそのことについて話し合っている		日中ゆっくりと職員に話されない入居者様は夜勤職員に話をしたことを職員同士話し合っている
14 ○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている。	毎月広報や生活の様子をご家族に送って入居者様の日々の生活の様子を知らせている その他に健康状態など何かご家族に報告しなければならない時は面会時やその都度電話にて連絡している		
15 ○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情等を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	意見などはすぐに会議などで話し合っ改めまたホーム内の掲示板や広報でお知らせしている 年に1回ご家族にアンケートを取り、それを基にして話し合い質の向上に努めて反映させている		
16 ○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	月に1回は職員面談している 各業務担当者会議をしてその月の業務内容を確認している		6ヶ月に1度は職員に意識調査などを行っている 毎日5分間全職員とのコミュニケーションを続けていきたい
17 ○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保する為の話し合いや勤務の調整に努めている。	ユニットの職員が協力し合っ入居者様の要望や急変時の病院受診など急な事態にも対応できるように強力体制をとっている		
18 ○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。	移動や離職がやむをえない場合も時期や引き継ぎの面で努力している 新しい職員が入る場合も入居者様に紹介している		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p> <p>外部の研修には多くの職員が受講できるようにしている 研修報告は全体会議で発表し他の職員にも報告している</p>		
20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。</p> <p>市内のグループホーム協議会があり出席して交流を図り研修会などにも出席して質の向上に励んでいる</p>		
21	<p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる。</p> <p>日ごろ、管理者と職員との会話及び交流の中で思いを聞き解消できる様にしている</p>		
22	<p>○向上心をもって働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心をもって働けるように努めている。</p> <p>職員の資格取得に支援を行っている</p>	○	能力の評価をしもっと向上心を持ってスキルアップが出来る環境を作っていきたい
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。</p> <p>入居相談時よりご本人やご家族とよくお話し、その方の過去の生活歴や趣味などを聞いた上で総合的に判断し、その方を理解する様にしている ご本人、ご家族に安心感をもって頂く様にご本人の気持ちを大切にしている</p>		
24	<p>○初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。</p> <p>ご家族とよくお話し、不安等何か相談事をされたらじっくりお話を聞き相談しやすい様な関係を作っている</p>		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けたときに、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	ご本人やご家族のお話を聞き、ホームでできるサービスはホームでし、ご本人希望時他の事業所に協力を依頼している		ユニットの入居者様がご希望時病院の作業療法に通っている
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している。	ご本人やご家族とよくお話し見学に来ていただいて了解をした上でサービスを開始し他の入居者様とお話ができるよう職員が間に入るなどして早くなじめる支援をしている		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている。	普段の会話の中にも、とてもためになるお話をして下さることもあり、人生の先輩だということを常に頭に入れ尊敬の気持ちを忘れず接している		
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている。	ご家族が面会に来られた時は最近の様子をお話したり、毎月の広報にて普段の生活の様子をご家族に紹介し思いを共有している		
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、よりよい関係が築いていけるように支援している。	行事などご家族に参加の知らせを送ったり、面会時に挨拶をしたりして面会に来やすい雰囲気を作るよう努めている 病院受診に可能な限り付き添ってもらっている		
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている。	月命日にはお坊さんが来られたり、ご家族がホームに泊まりたいと言われた時も気持ち良く泊まって頂くよう支援している		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている。	入居様が楽しくお話が出来る様話題作りをしたり、積極的に声掛けをするようにしている		
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている。	他の事業所へ移られた方にも入居様と一緒に訪問して交流を深めている		ホームの行事に参加して頂いたり継続的な付き合いができるように心がけていきたい
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ご本人、ご家族の希望、生活歴などの情報を総合的に判断し把握している		
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	ご本人、ご家族などから情報を聞き、把握している 居宅から入居される入居者様には居宅ケアマネージャーから情報を聞いている		
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている。	ご家族などの情報や情報提供書、毎日の介護記録などを総合的に判断し把握している		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している。	アセスメントをとりサービス担当者会議を開催し、ご本人、ご家族の要望を取り入れ介護計画を作成している		カンファレンスを出来るだけ多く開いて職員同士の意見交換をしてより質のある介護計画を作成したい

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
37 ○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。	介護計画は状態が安定している方は3ヶ月ごとに見直しをし状態の変化が見られ介護計画がその方に合わなくなった時はその時点で見直しを行っている		
38 ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	個人ファイルにその日の様子を記録しまた送りノートなどで職員同士情報を得ている 毎日の介護記録や送りノートなどで情報を職員同士で共有している		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
39 ○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている。	病院の送迎や頼まれれば買い物をし、希望時ご家族が開いている美容室に行って髪を切ってもらったりし要望に応じ柔軟に対応している		地域の高齢者が状況に応じて気軽に利用できるように取り組みたい
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40 ○ 地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している。	2ヶ月に1回運営推進会議を開催し情報を交換したり、消防の方の協力の下避難訓練を行っている		運営推進会議などで民生委員の方も出席して下さるのでもっとたくさんの意見を頂き入居者様が溶け込んで生活出来る様にしたい
41 ○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用する為の支援をしている。	1ヶ月に1回訪問美容を利用し、今後他の医療機関の作業療法を利用する予定である		
42 ○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している。	運営推進会議に参加して頂いていて情報交換している		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
43	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援をしている。</p> <p>入所される前に通われていた病院で週に1回内科往診、2週間に1回は整形外科往診を受けているまた、入所前からのかかりつけ医に受診希望している方には受診時同行し相談している</p> <p>必要時、歯科往診を受けている</p>		
44	<p>○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している。</p> <p>神経内科に受診しているので認知症についての助言をもらっている また、かかりつけ医に相談して助言をもらっている</p>		
45	<p>○看護職との協働</p> <p>事業所として看護職員を確保している又は、利用者をよく知る看護職あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。</p> <p>24時間連携で看護師がくるので相談、助言をもらっている</p>		
46	<p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している。</p> <p>入院時には医師等に情報提供している。入院後ご家族や病院関係者に情報交換して今後の対応をしている</p>		
47	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している。</p> <p>状態に変化があるごとに医師、看護師に情報提供しご本人、ご家族の意向も踏まえ職員全体で話し合っている</p>		
48	<p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている。</p> <p>状態変化があるごとにかかりつけ医に連絡しその都度職員同士で情報を共有し終末期の対応も研修を行ったり、文書化している</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
<p>49 ○住替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居宅へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住替えによるダメージを防ぐことに努めている。</p>	<p>まだ移り住むことがないが移り住む事になった場合はこれまでの生活環境、ケアプラン等の支援状況等を情報提供する様に努めたい</p>		
<p>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p>			
<p>1. その人らしい暮らしの支援</p>			
<p>(1)一人ひとりの尊重</p>			
<p>50 ○プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取扱いをしていない。</p>	<p>ケアの方法についてカンファレンスを行いケアの統一性を図り、記録などには個人名を書かない様徹底している</p>		<p>今後もカンファレンスの際には入居者様のプライバシーを尊重し職員の意識向上を図っていきたい</p>
<p>51 ○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや記号を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている。</p>	<p>誰にでもわかるような内容でお話し、ご本人の意思を尊重した関わりができるよう職員同士協力している</p>		
<p>52 ○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。</p>	<p>入居者様一人ひとりの毎日の生活パターンを把握し、その方のペースに合った支援を行っている</p>		
<p>(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</p>			
<p>53 ○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている。</p>	<p>ご家族が開いている美容室や行きたい床屋さんがあれば職員同伴のもと希望に沿うようにしている</p>		
<p>54 ○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員がその人に合わせて、一緒に準備や食事、片付けをしている。</p>	<p>入居者様の能力に合わせて調理のお手伝いをして頂いたり、後片付けをして頂いています。食事は入居者様と職員が一緒のテーブルでお話をしながら食べています</p> <p>誕生日の日にはお好みの物を提供しています</p>		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、タバコ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している。	食事で肉が苦手な人には代替えの物を提供したり、タバコを吸われる方には体の事を考え本数などをしっかり管理して吸ってもらうなど楽しみが持てる様支援しています		
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している。	排泄チェック表をつける事によって排泄パターンを把握し、尿・便意に訴えがない人には時間毎にトイレ誘導し、なるべくトイレで排泄ができるようにしている		
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している。	入居者様全員に事前に必ず入浴するかどうかの確認し、時間などもなるべく入居者様の希望に沿うようにしている		
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している。	日中でも眠そうにしている方がいたら居室で休んで頂いたり、夜間なかなか眠れないという方には居間でお話したり、温かい牛乳を提供している		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている。	入居者様の能力に応じて無理しない様に調理のお手伝いや居室掃除などをして頂いています		
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	入居者様の希望でお金を自分で持っている方がおり自分の欲しい物をスーパーで買ったりしている		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
61 ○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している。	暖かい日には外でラジオ体操や日光浴をされたり、畑の収穫をしたり、外に出る機会を作る様にしている		
62 ○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している。	床屋さんやご家族が開いている美容室に希望があれば職員同伴のもとお連れしている		
63 ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	ご家族に電話やはがきを出したいという希望があればだせるよう支援している また毎年ご家族に年賀状を出している		
64 ○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している。	いつでも面会に来れるように来たら笑顔であいさつし気持ち良く面会できるよう心がけている ご家族が2~3ヶ月に1回ホームに泊まりに来たり入浴したりしている		
(4)安心と安全を支える支援			
65 ○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束、高齢者虐待に関する研修に出席しそれを会議等で話し認識している		
66 ○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる。	日中は職員なるべく居間に一人以上はいるようにし、鍵をかけないで見守りしている		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
67 ○利用者の安全確認 職員は、プライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している。	日中は職員一人は居間にいるようにし、夜間は2時間毎に巡回し、記録は廊下を見渡せる位置で書く様になっている		
68 ○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている。	一人ひとりの状態を総合的に判断し裁縫を行っている人にはハサミなどを渡している また台所においてある包丁、ハサミ等は夜間はケースに入れて保管している		
69 ○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐ為の知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる。	ヒヤリ・はつとやアクシデント報告書は記録して全職員に伝達し再発防止に努めている		
70 ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている。	全職員が救急の講習を受けている また急変時のマニュアルを作成し、緊急時にもきちんと対応できるよう周知徹底している		
71 ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている。	年に2回避難訓練を行っている 運営推進会議で町内会長様に災害時の避難場所の確認や協力体制について話し合っている		
72 ○リスク対応に関する家族との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている。	予測されるリスクについて事前にご家族に説明し納得して頂き、状況が変化した時はその都度説明している		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
73 ○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気づいた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている。	毎日全員にバイタル測定してそれを記録している また普段から入居者様の表情を観察し、食事摂取量を記録するなどして何か変化があれば主治医に報告している		
74 ○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	入居者様の薬の種類・薬の用法・副作用が載った一覧表を作成している 服薬チェック表を作成し、薬の飲み忘れや飲み違いを防ぐようにしている		
75 ○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけに取り組んでいる。	毎日排便の有無を全員に聞き、排便の間隔があいているようなら医師に相談している 朝食前に冷たい水や牛乳を飲んでもらうようにしている		
76 ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れやにおいが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている。	毎食後必ず見守りや介助で歯磨きしている 入れ歯は夜間はポリドントにつけるようにしている		
77 ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	毎食必ず水分・食事摂取量をチェックし、記録している		
78 ○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	研修会に参加して職員全員に伝達したりマニュアルを作成して予防対策をしている 玄関や2階の入口に消毒液を設置している 職員の手洗い、うがいを出勤時にしている 予防や対応等の内部研修を行い職員に周知している		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
79 ○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている。	調理する時は消毒し、食材を触る時はビニール製の手袋を着用している まな板・フキン等は毎日夜勤者がハイター漂白しまな板も使い分けしている 冷蔵庫も食材配達日に整理し残りの食材があれば使い切る様にしている		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1)居心地のよい環境づくり			
80 ○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている。	入口に案内板を立て、玄関前にベンチを置いている		
81 ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	居間に花を飾ったり、季節の行事ごとには飾り付けをしている		
82 ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、一人になれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	廊下の端にはタバコを吸う場所を作ったり、居間ではソファーに座りテレビを見ながらお話ができるような場所を提供している		
83 ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使いなれたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	居室には以前使用していた使い慣れた物を持ってこれるようにしている		
84 ○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないように配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている。	暖かい日には十分に換気をしトイレには芳香剤を置いている 冬になると温度・湿度チェック表を作成し毎日チェックしている		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
<p>85</p> <p>○身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>廊下やお風呂場には手すりを設置し、建物内は段差がなく歩行不安定の人でも歩けるように配慮している</p>		
<p>86</p> <p>○わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している。</p>	<p>状態にあわせて環境整備をし安心して生活できるよう支援している</p>		
<p>87</p> <p>○建物の外回りや空間の活用</p> <p>建物の外回りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている。</p>	<p>前庭には芝生や畑があり、ベンチも置いてあるため暖かい日には日光浴をしたり畑の作物の収穫を楽しまれている</p>		

V. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	<ul style="list-style-type: none"> ① ほぼ全ての利用者 ② 利用者の2/3くらい ③ 利用者の1/3くらい ④ ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<ul style="list-style-type: none"> ① 毎日ある ② 数日に1回程度ある ③ たまにある ④ ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<ul style="list-style-type: none"> ① ほぼ全ての利用者 ② 利用者の2/3くらい ③ 利用者の1/3くらい ④ ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿が見られている	<ul style="list-style-type: none"> ① ほぼ全ての利用者 ② 利用者の2/3くらい ③ 利用者の1/3くらい ④ ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	<ul style="list-style-type: none"> ① ほぼ全ての利用者 ② 利用者の2/3くらい ③ 利用者の1/3くらい ④ ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	<ul style="list-style-type: none"> ① ほぼ全ての利用者 ② 利用者の2/3くらい ③ 利用者の1/3くらい ④ ほとんどいない
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている	<ul style="list-style-type: none"> ① ほぼ全ての利用者 ② 利用者の2/3くらい ③ 利用者の1/3くらい ④ ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<ul style="list-style-type: none"> ① ほぼ全ての家族 ② 家族の2/3くらい ③ 家族の1/3くらい ④ ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	<ul style="list-style-type: none"> ① ほぼ毎日のように ② 数日に1回程度 ③ たまに ④ ほとんどない

V. サービスの成果に関する項目	
項目	取り組みの成果
97	<p>運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている。</p> <p>①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない</p>
98	<p>職員は、生き生きと働いている</p> <p>①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない</p>
99	<p>職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う</p> <p>①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない</p>
100	<p>職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う</p> <p>①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどいない</p>

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(日々の実践の中で事業所として力を入れて取り組んでいる点・アピールしたい点等を自由記載)